



健康・生活

- ・心身の健康状態の把握のため、バイタル計測や表情や全身状態の細かな体調変化の観察をします。
- ・元気な状態を維持できるように、生活リズムを整えます。午睡が必要な場合なども環境を整えます。
- ・医師の指示のもと、その子に合った医療的ケアを行います。摂食、姿勢管理、排痰なども含めその子に合わせたケア

人間関係・社会性

- ・スキンシップをたくさんとり、子どもたちとスタッフとの信頼関係を作っていきます。
- ・スーパーへの買い物、地域の公園への散歩など積極的に外出活動も取り入れています。
- ・実習生やボランティアさんとの時間も作り、他者との関係を経験できるように支援します。
- ・療育や給食などの環境設定も他児を意識できるように考えています。

認知・行動

- ・場面に合わせた歌や絵本手遊びで状況理解を促します。
- ・お散歩や落ち葉遊び、野菜作りなどから季節の変化への興味など感性を形成していきます。
- ・いろいろな素材に触れ、感覚に関する認知の形成を促します。

【開所時間】

9:00~16:30

【送迎】学校からの送迎のみ
(その他要相談)

【主な行事】

- ・でら〜とまつり ・遠足
- ・ハロウィン・クリスマス会
- ・〇〇の日 ・どんど焼き
- ・節分 ・卒園式

言語・コミュニケーション

- ・絵本や紙芝居など他者とのコミュニケーションから言語の獲得、聞く力を育みます。
- ・腕を上げる、まばたきなど、その子なりのサインを確立させて、活かせる機会を作ります。

運動・感覚

- ・ふれあい体操、粗大運動(エアトランポリン、ハンモック、バランスボールなど)、感覚遊び(小麦粉・粘土遊び、スライムなど)、製作活動(絵具、クレヨン、紙ちぎりなど)、プール遊びなど季節に合わせたいろいろな遊びを提供します。
- ・姿勢の保持:PTの指導のもと歩行、立位や端坐位、腹臥位など行います。

職員の質の向上に関する取り組み

- ・外部研修へ参加(基本的に年間1回以上)
- ・内部研修(年3回)
- ・サポーターズカレッジ(オンデマンド研修)

地域支援、地域連携

- ・富士市自立支援協議会、富士圏域自立支援協議会への参加
- ・でら〜とまつりへの地域の方への招待
- ・ボランティアの受け入れ
- ・地域の高校、専門学校、大学の実習生受け入れ
- ・地域の看護学校、高校福祉科学生へ「重心児の授業」

移行支援

- ・放デイへの移行時、相談と連携をして児童発達で利用していた事業所に見学へ行ったり、面談や体験を十分に行っています。
- ・生活介護への移行時、相談と連携をして、ご家族の意向を確認し、情報共有を行っています。日ごろから当法人の生活介護の様子なども保護者に共有し、安心して移行できるよう支援しています。

家族支援

- ・年に2回の個別面談とは別に、必要に応じてそれぞれのご家庭に合わせたタイミングで面談、家庭訪問を行っています。
- ・年に数回、グループ面談を行っています。テーマは保護者の希望に応じて「防災」、「就学」、「制度やサービス」、「きょうだい児について」など行っています。
- ・医療的ケア、医療物品、摂食、姿勢などご家庭の困りごとなどの相談にも保育士、看護師、PTがその都度お応えしています。
- 必要な場合はでらび〜での様子や支援を見ていただくこともしています。
- ・きょうだい児も一緒に参加できるイベントを企画し、ご家族で楽しめるように考えています。